



(社)北海道中小企業家同友会 南しれとこ支部 第28回定時総会

2010年4月28日
寿宴

=====＜第1部 総会 18:00～18:25＞=====

1. 支部長挨拶 (社)北海道中小企業家同友会 南しれとこ支部 支部長 金曾義昭
2. 代表理事挨拶 (社)北海道中小企業家同友会 代表理事 守 和彦
3. 議長選出
4. 議事
 - ①役員選考委員選出
 - ②議題
 - ＜1＞2009年度活動報告と2010年度活動方針の提案
 - ＜2＞2009年度決算報告と2010年度予算の提案
 - ＜3＞全道総会代議員の選出
 - ＜4＞2010年度の役員選出
 - ③質疑応答
 - ④採択
5. 議長退任

=====＜第2部 記念講演 18:30～19:20＞=====

＜テーマ＞ 「地域の生き残りをかけた浜中町農協の挑戦」
～新規就農相次ぐ酪農郷づくり～

＜講師＞ 浜中町農業協同組合 組合長 石橋 榮紀氏（釧路支部副支部長）

=====

【第一回幹事会】

=====＜第3部 懇親会 19:30～20:30＞=====

1. 第一回幹事会の報告
2. 新支部長挨拶
3. 祝杯
4. 懇談
5. 道研PR
6. 閉会



同友会の3つの目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と、強靱な経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、多くの人に触れあうことによってお互いの人格、識見を高め、現代の経営者に要求される総合的な能力を身につけるよう努力します。
3. 同友会は中小企業をとりまく経営環境の改善をめざします。

同友会の3つの精神

自主・民主・連帯

同友会の目指す企業像

国民や地域と共に歩む中小企業

同友会が目指す21世紀型企业

1. 自社の存在意義を改めて問い直すとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準でこたえられる企業。
2. 社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。

同友会の合言葉

1. 知り合い、学びあい、援けあい、共に繁栄を目指しましょう！
2. きばらず、せかず、諦めず、私たちの要望を実現しましょう！
3. 激動をよき友とする経営者になりましょう！

会員間取引の三つの申し合わせ

1. 同じものを買うなら会員企業から。会員にはなるべく安くて良いものを提供する
2. 率直に希望を出し合い、仕方なくお義理で取引するのはやめ、お互いに利益は保障する。
3. 取引を通じて、会員同士の友情と信頼が一層深まるよう努力する。



議題＜１＞ ２００９年度活動活動報告と２０１０年度活動方針案

1. 同友会の働き掛けが奏功し 2009 年 4 月に「別海町中小企業振興基本条例」が制定されました。これを受けて「別海町中小企業振興協議会」が開始されています。さらに 2010 年 4 月に中標津町で 4 年に及ぶ運動が実を結び「中小企業振興基本条例」が施行されました。
2. 別海地区会が牽引役となって、支部の会員数は 137 社から 150 社へと前進しました。別海地区会は 75 社、組織率は 30%に達しています。
3. 若手経営者部会「獺の会」が中標津町の歴史、経済情勢などを再認識する市街地調査を行いました。
4. 条例の施行に伴い地元中小企業が地域とのより深いつながりを持つための一環として、同友会が中心となり別海町の地域医療を守るための支援組織「医良同友（いいどうゆう）」が発会しました。

総会・幹事会

2009 年

4 月 2 日 4 月幹事会 17 名
於 なかまっふ

4 月 10 日 総会 37 名
於 寿宴

「企業づくりと人育ての実践から学ぶ」

講師：㈱テキサス

代表取締役 落合 洋 氏

(北海道中小企業家同友会 副代表理事)

4 月 22 日 四役・委員長会議 10 名
於 和風ダイニング茶山

5 月 13 日 5 月幹事会 16 名
於 寿宴

6 月 4 日 6 月幹事会 14 名
於 なかまっふ

7 月 8 日 7 月幹事会 11 名
於 寿宴

8 月 4 日 8 月幹事会 13 名
於 なかまっふ

9 月 3 日 9 月幹事会 16 名
於 寿宴

10 月 6 日 10 月幹事会 13 名
於 なかまっふ

11 月 4 日 11 月幹事会 12 名
於 寿宴

12 月 3 日 四役会 6 名
於 ホテルビズイン

12 月 5 日 12 月幹事会 7 名
於 寿宴

2010 年

1 月 8 日 1 月幹事会 16 名

2 月 9 日 2 月幹事会

於 寿宴

12 名

於 なかまっふ

3 月 5 日 四役会

7 名

於 ホテルビズイン

3 月 8 日 3 月幹事会

15 名

於 寿宴

専門委員会

中小企業振興基本条例検討会議

2009 年

5 月 7 日 会議 11 名
於 なかまっふ

5 月 14 日 会議 10 名
於 なかまっふ

6 月 25 日 会議 12 名
於 中標津町商工会

7 月 23 日 会議 14 名
於 なかまっふ

8 月 27 日 会議 9 名
於 なかまっふ

9 月 24 日 会議 16 名
於 なかまっふ

10 月 28 日 会議 15 名
於 なかまっふ

11 月 20 日 会議 17 名
於 なかまっふ

組織交流委員会

2009 年

11 月 16 日 会議 5 名
於 西陣



例会・特別企画

2009 年

5 月 26 日 5 月例会 14 名
於 ウコウボウル

「さよなら ウコウボウル」

5 月 31 日 清掃奉仕活動

於 中標津町

6 月 23 日 6 月例会 23 名

於 なかまっふ

「創業の気概を継ぎ、新しい社風を創る」

講師：(株)山本忠信商店

代表取締役 山本 英明 氏

(帯広支部 幹事長)

7 月 28 日 7 月例会 22 名

於 なかまっふ

「中標津農業高校の教育と進路指導の現状」

講師：中標津農業高校

進路指導部長 堀出 文恒 氏

8 月 21 日 ゴルフ懇親会 11 名

於 中標津保養所温泉旅館

9 月 25 日 9 月例会 25 名

於 なかまっふ

「道銀の営業戦略」

～32 年ぶりの地方出店の意気込みを語る～

講師：北海道銀行中標津支店

支店長 船木 隆一 氏

10 月 27 日 10 月例会 13 名

於 なかまっふ

「これからの時代のコミュニケーション技術」

～社員やお客さんとの良い関係を保つために～

講師：(株)エーワンビルディング

代表取締役 吉田 英一 氏

(釧路支部会員)

11 月 10 日 11月例会(酪農郷元気セミナー Part 2)

68 名

於 別海町マルチメディア館

「農業にかける夢 伊賀の里で花開く」

～モクモク手づくりファームの挑戦～

講師：農事組合法人 伊賀の里モクモク手づくりファーム

専務理事 吉田 修 氏

(三重同友会会員)

12 月 5 日 望年会 26 名

於 寿宴

2010 年

1 月 21 日 新年交礼会 35 名

於 トーヨーグランドホテル

「経営者のやる気が企業と地域を元気にする」

講師：マルキチ食品(株)

代表取締役会長 金子 宏 氏

(函館支部 専任幹事)

2 月 23 日 2 月例会 22 名

於 なかまっふ

「らうす海洋深層水で地域おこし」

講師：(有)湊屋漁業

代表取締役 湊屋 稔 氏

3 月 24 日 3 月例会 15 名

於 なかまっふ

「すぐ使える使える雇用助成金」

講師：ハローワーク根室

上席職業指導官 伊藤 周祐 氏

「我社の人事構成の現状」

報告者：雨宮印刷(株)

代表取締役 雨宮 慶一 氏

別海地区会

2009 年

4 月 7 日 総会 31 名

於 ふらと

4 月 22 日 幹事会 11 名

於 三福食堂

4 月 27 日 第一委員会(良い会社づくり委員会)

4 名

於 ふらと

5 月 11 日 第三委員会(良い経営環境づくり委員会)

4 名

於 ふらと

5 月 14 日 幹事会 15 名

於 三福食堂

5 月 15 日 中小企業振興基本条例視察 15 名

於 別海町役場

5 月 19 日 第一委員会(良い会社づくり委員会)

3 名

於 ふらと

5 月 25 日 5 月例会 17 名

於 ふらと

1. 経営指針とは何か

2. 中小企業企業にはなぜ経営指針が必要なのか

3. 架空のモデル企業の問題点の洗い出し

(株)ラコンテ

代表取締役 松井 智聖 氏

(釧路支部会員)

5 月 26 日 第四委員会(農業・水産委員会) 7 名

於 三福食堂

6 月 12 日 幹事会 12 名

於 三福食堂



6月12日 第四委員会（農業・水産委員会） 6名
於 三福食堂

6月16日 経営指針成文化研究会 5名
於 ふらと

6月22日 第三委員会（良い経営環境づくり委員会） 3名
於 三福食堂

6月25日 6月例会 19名
於 ふらと

「別海開拓使缶詰所」
講師：別海町郷土資料館
学芸員 戸田 博史 氏

6月29日 第三委員会（良い経営環境づくり委員会） 3名
於 三福食堂

7月2日 幹事会 12名
於 三福食堂

7月21日 経営指針成文化研究会 7名
於 ふらと

7月22日 第二委員会（良い経営者づくり委員会） 8名
於 ふらと

7月23日 中小企業振興基本条例視察 10名
於 帯広市役所

7月29日 7月例会 37名
於 別海町コミュニティーセンター

「町議会議員との焼肉交流会」

8月11日 幹事会 10名
於 三福食堂

8月11日 経営指針成文化研究会 6名
於 ふらと

8月19日 中小企業振興基本条例制定会議 7名
於 別海町役場

9月4日 幹事会 11名
於 三福食堂

9月14日 中小企業振興基本条例制定会議 6名
於 別海町役場

9月15日 9月例会 19名
於 別海漁業協同組合

「献上鮭のブランド戦略」
講師：別海漁業協同組合
参事 石川 量平 氏

9月15日 経営指針成文化研究会 7名
於 ふらと

9月30日 酪農郷元気セミナー Part 1 36名
於 ふらと

「酪農と他産業の関わり」
～新たなビジネスの創造に向けて～
講師：酪農学園大学

教授 吉野 宣彦 氏

10月1日 幹事会 9名
於 三福食堂

10月14日 幹事会 10名
於 三福食堂

10月20日 経営指針成文化研究会 4名
於 ふらと

10月23日 釧根4地区会合同例会 35名
於 ふらと

「別海町中小企業振興基本条例制定までの過程と今後の展開」
報告者：富田屋㈱

代表取締役 山口 寿 氏
（南しれとこ支部別海地区会 幹事長）

10月30日 中小企業振興基本条例制定会議 18名
於 別海町役場

11月17日 幹事会 10名
於 三福食堂

11月24日 経営指針成文化研究会 6名
於 ふらと

12月9日 経営指針成文化研究会 7名
於 ふらと

12月11日 忘年会 28名
於 うらら

12月15日 農場見学会 15名
於 ふらと・森高牧場

「農水連携、地域循環型酪農経営の現場から学ぶ」
報告者：森高牧場

代表 森高 哲夫 氏
進洋丸水産

代表 松原 政勝 氏

2010年

1月15日 新年交礼会 37名
於 交流館ふらと・パブうらら

「新政権で中小企業の経営環境はこう変わる」
～中小企業立国への道程～
講師：慶応義塾大学
経済学部教授 植田 浩史 氏

1月19日 第三委員会（良い経営環境づくり委員会） 4名
於 三福食堂

1月25日 経営指針成文化研究会 7名
於 ふらと

2月2日 幹事会 12名
於 三福食堂

2月17日 経営指針成文化研究会 7名
於 ふらと

2月24日 三役・委員長会議 14名



於 ポルシェ
2月26日 2月例会 40名
於 ふらと
「中小企業向け施策の説明と活用について」
講師：大地みらい信用金庫 業務統括本部起業
支援グループ 起業家支援センター
副センター長 永谷 朋祐 氏
2月26日 合同委員会 40名
於 ふらと
3月3日 幹事会 10名
於 三福食堂
3月12日 JA道東あさひ青年部べっかい支部と
の懇談会 37名
於 ふらと・パプうらら
「別海町の第一次産業の可能性」
～農商工連携で作る別海の未来～
報告者：伊藤牧場
代表 伊藤 敏彦 氏
(南しれとこ支部別海地区会 農林水産委員長)
3月17日 3月例会 22名
於 ふらと
「これが我が社の経営指針」
報告者：野付アポロ石油(株)
専務取締役 島崎 哲也 氏
解説：みどり建工(株)
代表取締役 山崎 宏 氏
別海地区会 医良同友
2009年
11月29日 医良同友設立総会 92名
於 ウエディングプラザ別海
2010年
1月26日 役員会 20名
於 パプうらら
1月30日 ワカサギ釣り&スノーモービル交流会
60名
於 茨散沼

部会・研究会

獺の会

2009年

4月14日 総会 5名
於 なかまっぶ
5月15日 例会 5名
於 なかまっぶ
「中標津町の農業情勢を学ぶ」
報告者：(有)和光
加藤 利洋 氏
(有)今野電工
今野 朋弥 氏

(有)青山商会

青山 隆志 氏
6月17日 例会 3名
於 なかまっぶ
「中標津町の農業情勢を学ぶII」
報告者：(有)和光
加藤 利洋 氏
(有)今野電工
今野 朋弥 氏
(有)青山商会
青山 隆志 氏
7月16日 例会 6名
於 なかまっぶ
「中標津町の製造業を学ぶ」
報告者：雨宮印刷(株)
雨宮 慶一 氏
小針土建(株)
齊藤 貢 氏
8月20日 例会 5名
於 なかまっぶ
「中標津町の歴史を学ぶ」
報告者：(株)標津羊羹本舗
長谷川 淳 氏
北斗防災(株)
細野 明弘 氏
9月15日 例会 5名
於 なかまっぶ
「中標津町の商業の現状を学ぶ」
報告者：福田経営センター(株)
山田 晃裕 氏
(株)クリエイトワークス
内藤 靖徳 氏
10月29日 例会 6名
於 なかまっぶ
「中標津町のトレンドについて」
報告者：(株)標津羊羹本舗
長谷川 淳 氏
11月18日 打ち合せ会議 6名
於 なかまっぶ
11月21日 釧根三支部青年部合同例会 11名
於 ホテルビズイン
「地域経済の実態を知る」
～市街地調査から見てきた中標津町～
報告者：獺の会会員
12月18日 望年会 3名
於 知床ジンギスカン そら
2010年
1月20日 打ち合わせ会議 3名
於 なかまっぶ



2月17日	例会	5名	於	なかまっふ	8月19日	研究会	4名	於	なかまっふ
	「身近なエコを学ぶ」				9月17日	研究会	4名	於	なかまっふ
	報告者：(有)今野電工	今野 朋弥 氏			10月16日	研究会	4名	於	なかまっふ
	報告者：第一宅建設(株)	青山 新吾 氏			11月20日	研究会	4名	於	なかまっふ
3月17日	例会	5名	於	なかまっふ	12月10日	研究会	4名	於	なかまっふ
	「清掃についての深い知識」				2010年				
	報告者：(有)和光	営業課長 加藤 利洋 氏			1月26日	研究会	4名	於	なかまっふ
	経営指針成文化研究会				2月16日	研究会	4名	於	なかまっふ
2009年									
6月12日	研究会	5名	於	なかまっふ					
7月14日	研究会	4名							



重点方針

「良い会社をつくろう。良い経営者になろう。良い経営環境をつくろう」という同友会三つの目的は、厳しい時代になればなるほど輝きを放ちます。今年度も支部内の四つの町に広がった１５０社会員の繋がりを強化して参ります。

さらに別海町、中標津町で施行された「中小企業振興基本条例」を活用して地域の活性化を進め、更なる目標である「中小企業憲章」についての学習と、制定へ向けた運動を進めましょう。

（１）中小企業振興基本条例の運用

私たちの努力が実を結び、別海町、中標津町で「中小企業振興基本条例」が施行されました。条例に命を吹き込むためには、会員が積極的に「中小企業振興会議」に参加しなければなりません。自治体や商工会と協調しながら中小企業振興を中軸に据えた経済政策づくりに取り組みましょう。羅臼町・標津町でも条例制定運動に着手しましょう。

（２）１５５社会員達成

南しれとこ支部は過去最高の１５０社会員となっています。今年度は中標津町内の経営者に重点的に入会を働きかけ、１５５社会員を達成しましょう。羅臼町・標津町の会員拡大にも力を注ぎましょう。

（３）別海地区会を応援

二年前に発足した別海地区会は７４社会員と順調に成長し、組織率は３０％になりました。中小企業振興基本条例も施行され、その成果である医療支援団体「医良同友（いいどうゆう）」も結成され、町民３００名が加盟しています。支部をあげて地区会活動の支援をしましょう。

（４）後継者育成

企業や同友会運動の後継者の育成を図りましょう。会員企業の幹部社員にも積極的に同友会活動へ参加して頂き、強い企業体質を築きましょう。

（５）例会運営

例会は四つの委員会（交流・会員拡大／経営企画／共同求人共育／地域経済）が順番に担当し、それぞれの特徴を出した例会を開催しましょう。



（６）釧根三支部（釧路・南しれとこ・根室）交流

釧根三支部６８０社、全道５，４００社、全国４１，０００社の同友会会員企業は、会員企業にとって貴重な活用すべき財産です。今年度も、会員同士のネットワークを築き、交流をすすめて参りましょう。全国行事にも積極的に参加しましょう。

（７）経営指針成文化研究会

「経営指針成文化研究会」を中標津町で開催しましょう。経営者と社員が共に学び共に育ち、経営環境の変化にも耐えうる強靱な企業をつくりあげましょう

（８）部会活動

１５年前にスタートした、青年経営ゼミナール「獺（ばく）の会」は、青年経営者と幹部が自主的に学びあう部会として活動をすすめてまいります。釧路支部の「みけた会」や根室支部の「山高会」との合同企画も進めて参ります。

**議題＜２＞ ２００９年度決算報告と２０１０年度予算案の提案（別紙）****議題＜３＞ 全道総会代議員の選出**

番号	支部内役職	氏名	会社名	役職
1	支部長	金曾 義昭	広栄メンテナンス（株）	代表取締役
2	副支部長	山崎 宏	みどり建工（株）	代表取締役
3	副支部長	加藤 達雄	（有）中標津保養所温泉旅館	代表取締役
4	副支部長	佐々木 孝	佐々木テント（有）	代表取締役
5	副支部長	中島 毅	ほくねん（株）	代表取締役
6	幹事長	渡辺 政之	（有）ワタナベ葬儀社	常務取締役
7	副幹事長	雨宮 慶一	雨宮印刷（株）	代表取締役社長
8	別海地区会会長	寺井 範男	寺井建設（株）	代表取締役
9	別海地区会幹事長	山口 寿	富田屋（株）	代表取締役
10	経営企画委員長	青山 隆志	（有）青山商会	代表取締役

議題＜４＞ ２０１０年度役員選出

2010年度 南しれとこ支部幹事名簿

	地区	会社名	会員名	役職	支部内役職
1	中標津町	広栄メンテナンス(株)	金曾 義昭	代表取締役	支部長(常任理事)
2	中標津町	(有)ワタナベ葬儀社	渡辺 政之	常務取締役	幹事長(理事)
3	別海町	みどり建工(株)	山崎 宏	代表取締役	副支部長(理事)
4	中標津町	(有)中標津保養所温泉旅館	加藤 達雄	代表取締役	副支部長
5	中標津町	ほくねん(株)	中島 毅	代表取締役	副支部長
6	中標津町	佐々木テント(有)	佐々木 孝	代表取締役	副支部長(経営指針推進担当)
7	中標津町	雨宮印刷(株)	雨宮 慶一	代表取締役社長	副幹事長
8	中標津町	(株)日専連中標津	平井 敬二	専務取締役	地域経済委員長
9	中標津町	カーショップ滝口	瀧口 博司	代表	交流・会員拡大委員長
10	中標津町	(有)青山商会	青山 隆志	代表取締役	経営企画委員長
11	中標津町	(有)エヌエス工業	名和 孝志	代表取締役	共同求人・共育委員長
12	別海町	寺井建設(株)	寺井 範男	代表取締役	別海地区会会長
13	別海町	富田屋(株)	山口 寿	代表取締役	別海地区会幹事長
14	中標津町	釧根開発(株)	松實 秀樹	代表取締役社長	幹事
15	中標津町	(有)あべ商会	阿部 雄司	常務取締役	幹事
16	中標津町	(有)今野電工	今野 慎也	代表取締役	幹事
17	中標津町	大標熱学(有)	松村 康弘	代表取締役	幹事
18	中標津町	(有)田子内製麺	田子内市男	代表取締役	幹事
19	中標津町	(株)ハタ建材	端 賢二	代表取締役	幹事
20	中標津町	(有)坂脇機械店	坂脇 孝一郎	代表取締役	幹事
21	中標津町	いぬい牛乳	乾 洋	代表	幹事
22	中標津町	廣木建設(株)	廣木 智	代表取締役	幹事
23	中標津町	山洋建設(株)	三宅 正浩	代表取締役	幹事
24	中標津町	(有)ブルボン	櫻田 靖恒	代表取締役	幹事
25	中標津町	(有)スポーツ・ピア	秋山 俊彦	代表取締役	幹事
26	中標津町	(株)館下印刷所	館下 雅志	代表取締役	幹事
27	中標津町	(株)津村測量設計	日下 雪夫	代表取締役	幹事
28	中標津町	(有)パースコム	加藤 昌之	代表取締役	幹事
29	羅臼町	(株)中村電気商会	中村 司	代表取締役	幹事
30	中標津町	(株)北海道ハウス工業	湯田 孝男	代表取締役	幹事



=====＜記念講演＞=====

＜テーマ＞ 「地域の生き残りをかけた浜中町農協の挑戦」
～新規就農相次ぐ酪農郷づくり～

＜講師＞ 浜中町農業協同組合 組合長 石橋 榮紀氏（釧路支部副支部長）

=====

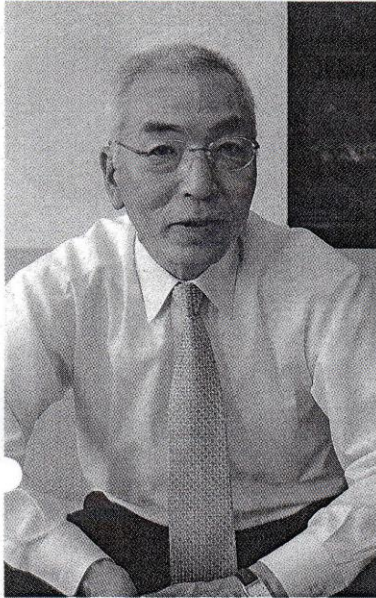
中 標 津 町

基本条例を提案へ

元気な中小企業目指し

中標津町中小企業振興基本条例が今年4月からの施行を目指し、8日から始まる中標津町定例議会に提出される。中小企業振興基本条例は、日本企業の98%を占める中小企業が地域活性化に果たす役割を明確にし、町の中小企業施策のよりどころとなるもので、町の責務、中小企業者の努力、大企業の役割、町民の理解と協力と、それぞれの役割を明文化したものだ。(坂上めぐみ)

4者の役割を明文化



中標津町の制定は根室管内 道内は北海道中小企業家同友 制定に向け熱心に取組み、中では別海町に次いで2番目。 会が支部ごとに各自自治体での 中標津町でも同南しれと支部

(金置義昭支部 長)が、会員が 重複する中標津 町商工会(大橋 清勝会長)と 元気なまっしぐらに中小企業者の 元気が欠かさない」と語る同 友会、金置支部 長

もに中標津町と2005年に 勉強会を作つて研究を始め、 09年5月からの3者でワーキンググループ会議を重ねて きた。11月に経済振興審議会 への諮問、答申を経て、今年 1月22日から二カ月間、役場

ホームページや公共施設での 町初となるパブリックコメン トを受け、今回の条例提案と なった。 前文には、まちの雇用はじ め経済基盤を担い、地域の中 核都市としての発展に貢献し てきたのが中小企業者であ り、経済のグローバル化、大 手企業進出による厳しい環境 下、こうした中小企業を振興 していくことがまちの活性に つながることを明記してい る。町の責務としては工事の 発注など町内中小企業の受注 機会の増大に努めること、中 小企業者には社会的責任を自 覚し、地域社会との調和、暮 らしやすい地域社会実現への

貢献を、町民には中小企業の 役割を理解し、地場産品、町 内中小企業者提供のサービス の利活用に努めることなどを 求めている。 こうした理念を具体化する ために、条例には審議会設置 が盛り込まれ、今後、町長の 諮問に応じて、また自主的に 中小企業振興施策などに関し

て意見を述べる。経済振興課 南しれと支部の金置支部長 は「(制定によって)地域貢 献へ事業者の意識も変わると 思う。中小企業の元気はまち づくりに欠かせない。周辺か ら人が集まる中核都市として の責任もあり、4者協働でま ちの将来について考えていき たい」と、今後の条例活用を 期している。

制定の推進力となってきた

中標津町と函館市の中小企業振興基本条例

中小企業振興への思いを聞く

4月1日に施行された中標津町と函館市の中小企業振興基本条例。その策定に携わった、南しれとこ支部の金曾義昭支部長と函館支部の菅鉄夫専任幹事のお二人に、策定作業の経過や中小企業振興への思いをお聞きしました。

今後、町の中小企業振興審議会が設置され、その中には

ワーキンググループのメンバーの何人かが入ることになるかと思しますので、わたしたちの思いをそこにも反映できればと考えています。

地域発展を考える条例

南しれとこ支部長 金曾 義昭さん

わたしたちも最初は、中小企業振興基本条例というものの中身が分かりませんでしたので、中標津町商工会、町の3者で2005年に勉強会をスタートさせました。勉強会

は一時、町村合併などの問題もあつたため途切れてしまつた文言にするかには気は遣いました。また、中小企業の振興条例ではありますが、中小企業だけを考えればいいのではなく、地域の発展を考える条例ですから、中小企業者向けだけでは駄目だということとは、メンバーのみんなで確認しました。



金曾義昭支部長

会員増強は 豊かな社会創造の力

2010年5万名会員
をめざして

(81)

牧草地に降り立つタンチョウ



北海道東部に位置し、中
標津町、別海町、標津町、
羅臼町の四町、人口五万人
からなる南しれとこ支部は
知床半島の南に位置してい
ます。

豊かな海からは秋サケ、
ホタテ貝、シマエビ、コマ

中小企業振興条例の施行で 地域経済振興策への発言力強める

北海道
南しれとこ支部

組織率10%超える支部の活動より ⑧

中同協では、地域に責任の持てる同友会づくりを進めようと、組織率10%をめざしています。今回は組織率一四%超の北海道・南しれとこ支部を紹介します。

全国初、町単位の支部

中標津町、別海町を中心
として一九七三年から
「国営根釧パイロット
事業」が始まり、機械
化による大規模酪農経
営が始まりました。人
口の増加に合わせ商業
も発展し、特に中標津
町で商業施設が増えま
した。

この頃から支部設立
の必要性が高まり、三
年間の準備期間を経て
一九八三年五月に全国
初の町単位での支部と
なる中標津支部が発足
しました。この年の七

月に北海道で開かれた全国
総会では全国の参加者が中
標津町を訪れ、日本経済を
支える中小企業の経営基盤
は地域にある」とした総会
宣言に合致し、道東の小さ
な町で産声を上げた同友会
の「共に育ち合う土壌づく
り」という考え方に触れま
した。

支部設立二十周年となる
二〇〇三年には四町に会員

のネットワークが広がって
いることを表す支部名「南

しれとこ支部」に改称され
ました。九〇年代半ばから

全道的に人口、事業所の減
少が進みましたが、中標津

町は酪農と商業の町として
二〇〇八年まで釧路、根室

管内で唯一人口が増加して
いました。

別海地区会の発会

百十社程の会員数が続い
ていた二〇〇七年十一月、

南しれとこ支部に別海地区
会が発足しました。四十社

で発会した同地区会は年々

会員数を伸ばし、二〇〇九
年には農業水産委員会を発

足し、別海町を支える第一

次産業とのかかわりを強め
る運動を展開しています。

さらに特筆すべきは、全
国の町村の先陣を切った二

〇〇九年四月に中小企業振
興基本条例が施行され、地

域経済振興策への発言力を
強めていることです。

また地域の医療支援を目

的とした「医良同友いとい
うゆー」が発足し、町民三

百名が登録して、結氷した
湖上でのワカサギ釣り大会

や健康づくりのための勉強
会などを企画しています。

別海地区会の寺井範男会
長（寺井建設社長）は、「条

例が施行され、今後はその
効果が問われる。役場との

連携を強めて地域貢献の場
で同友会のしつかりした地

歩を築きたい」と語ります。

南しれとこ支部の会員数

は別海地区会の発会后、順

調に拡大しました。二〇一

〇年二月現在、別海地区会

は会員数七十二社、組織率

は二九%に達しています。

支部全体では百五十二社で

組織率は一四・三%を誇り
ます。

金智義昭支部長（広栄メ
ンテナンス社長）は「別海

地区会の急速な会員増強は
支部全体に大変良い刺激を

与えている。中標津町でも
二〇一〇年四月に中小企業

振興基本条例が施行される
が、厳しい経営環境

が続く道東経済だが、活発
な運動を行って地域経済の

振興を行いたい」と熱意を
にじませています。

北海道同友会釧路事務所
事務局員 栗谷秀実



バンドを組んで歌を披露した西村院長(ボーカル担当、写真中央左)

地域の医療崩壊を食い止めたいと、北海道東部の酪農の町、別海町に医療支援組織「医良同友(いりどうゆう)」が発足しました。これは、北海道同友会南しれとこ支部別海地区会(寺井範男会長)と別海町立病院の医師やスタッフ、町民による組織で、十二月二十九日に設立総会が開かれました。

医療崩壊は町ぐるみで食い止める

医療支援組織「医良同友」が発足 北海道・別海地区会



「町ぐるみの大きな運動にしていきたい」と話す寺井会長

十一月二十九日、医療支援組織「医良同友」の設立総会には、同友会会員、別海町立病院の医師や医療スタッフ、趣旨に賛同した町民など百四十名が参加しました。

医師不足など地方の医療崩壊が広がる中、地元企業の経営者として何とかしたいと立ちあがった別海地区会。寺井会長は、次のように話します。

「地域経済と企業経営の持続的発展には、医療サービスを確保して従業員を含む地域住民の健康を守ることが必須課題です。医療問題は行政に頼るばかりではなく、民間も積極的に協力していくというのが医良同友の基本理念。こうした運動の広がりが全国の地域医療の問題解決に役立つことができる」。

別海町の人口は一万六千人。今年四月には中小企業振興基本条例が施行されました。別海地区会の会員数は六十八社、組織率は二八%に上ります。医良同友には、十二月現在で約三百人の町民が登録しています。

医良同友発足の背景には、地方勤務医の厳しい労働環境に起因する医師不足があります。過労で

体調を崩した医師が地方を離れる事例が増える中、医師の負担を軽減するための取り組みや、医師とその家族が地域と住民に愛着を持つて定着できるような地域ぐるみの交流会の開催など、将来的には医師を呼び込める町づくりをしていくことが目的です。

設立総会であいさつに立った町立別海病院の西村院長は、「今まで町民の皆さんとの交流は診察以外ほとんどなかった。このような機会は大変ありがたい。町民がこの町で一生を送れるような病院体制を築くために頑張るので、応援してほしい」と語りました。

2009年度

決算報告

2010年度

予算案

一般社団法人 北海道中小企業家同友会

釧根事務所

(社) 北海道中小企業家同友会の 3 月末決算と 2010 年度予算の要旨

- 1、北海道同友会は、2009年5月18日の第41回定時総会決議により、任意団体から一般社団法人に移行しました。法人としての同友会は、任意団体の全債権・債務を引継ぎ、6月1日付けで開始バランスシートを作成し、一般社団法人としての会計をスタートさせました。
- 2、2009年度の決算は、4、5月の任意団体としての決算と6～3月の一般社団法人としての決算の両方を行うことになります。両方をあわせたものが同友会の2009年度通期の決算と考えてください。
- 3、2006年制定の「一般社団法人法」では、「一般社団法人の会計は、その行う事業に応じて、一般に公正妥当と認められる会計の慣行に従う」（第119条）としています。非営利型法人である同友会は、「政府が定めた公益法人会計基準によることが望ましい」とされています。
- 4、2009年度は移行期なので、会計基準に基づいて勘定科目等の若干の変更をし、従来の会計処理を基本に一般社団法人としての決算をしております。主な変更点は、次の2点です。
 - ①任意団体の会計処理では、様々な「引当金」を負債に計上し、それを取り崩す時に「〇〇引当金繰戻」で収入に計上した上で同じ額を支出できました。しかし、会計基準では「退職給付引当金」しか認められず、他の「引当金」はバランスシートの一般正味財産に繰り入れ、それに見合う金額を「特定資産」に計上しています。

従って、当初予算で「〇〇引当金繰戻」を収入にたてていた支部は、その処理ができなくなりますので、その分当期剰余金は減ります。
 - ②部会の「預り金」については会計原則に基づいて処理します。本来「預り金」とは、「他人から一時的に金銭を受け入れ、後日その者または第三者に返還すべき金額を処理する勘定」です。従って、同友会自身の財産である部会の残高を「預り金」で処理するのは適切ではないので、例会等の会合と同じ処理をし、別表で部会の残高が分かるようにします。その結果、部会の「預り金」相当額が収入として計上されるため、2009年度の当期剰余金が増えます。
- 5、2010年度予算案は、同友会の「会計処理規定」（3月18日の第5回理事会で承認）に基づき、「平成20年公益法人会計基準」により作成し、執行することになります。この「会計基準」では、法人税の対象になる「収益事業」とそれ以外の「公益事業」「共益事業」とを明確に区分し、事業費とその事業を管理するための費用である管理費（法人会計）を分けることを求めています。法人税の納付の判断基準にもなりますので、会計基準に基づく処理が必要です。それぞれの事業や管理費に共通する費用は、年間総会合数に占める割合を基準に配賦しています。その割合は、「学び合い活動事業」86%、「社員教育活動事業」7%、「法人会計」7%です。

以上

(2009年4月1日～2009年5月31日)

収入の部						
勘定科目		予算(12ヶ月分)	実績(2ヶ月分)	備考		
会費収入	入会金還元金	880,000	257,000	1社 16,000円		
	(釧路)	(640,000)	(225,000)			
	(根室)	(80,000)	(32,000)			
	(南しれとこ)	(160,000)	(0)			
	会費還元金	7,740,000	1,628,000	1社1ヶ月 1,000円		
	(釧路)	(5,400,000)	(1,077,000)			
	(根室)	(780,000)	(168,000)			
	(南しれとこ)	(1,560,000)	(383,000)			
	支部還元金（人件費）	15,000,000	2,228,265	本部負担分		
	小計 ①	23,620,000	4,113,265			
事業収入	釧路会合収入	6,800,000	1,154,675			
	(例会・総会)	(5,000,000)	(791,475)			
	(教育)	(1,000,000)	(85,000)			
	(厚岸地区会)	(500,000)	(125,000)			
	(白糠地区会)	(150,000)	(60,200)			
	(摩周地区会)	(150,000)	(93,000)			
	根室会合収入	670,000	154,000			
	(例会・総会)	(650,000)	(154,000)			
	(教育)	(20,000)	(0)			
	南しれとこ会合収入	1,920,000	448,400			
	(例会・総会)	(1,100,000)	(289,400)			
	(教育)	(20,000)	(0)			
	(別海地区会)	(800,000)	(159,000)			
	三支部合同事業収入	20,000	1,000			
	共同求人収入	10,000	0			
	雑収入	344,000	11,000			
		小計 ②	9,764,000	1,769,075		
	その他収入	その他収入	0	0		
		小計 ③	0	0		
当期収入合計（①+②+③）		33,384,000	5,882,340			

支出の部				
勘定科目		予算(12ヶ月分)	実績(2ヶ月分)	備考
事業費	印刷費	450,000	128,456	コピー機リース料、名刺代
	通信費	1,080,000	170,112	
	（郵送料）	(80,000)	(55,122)	郵便、宅急便
	（電話料）	(800,000)	(79,725)	電話、FAX料
	（FAX料）	(200,000)	(35,265)	FAX同報送信
	交通費	1,300,000	149,691	
	出張宿泊費	700,000	129,975	
	釧路会合費	7,230,000	1,119,573	
	（例会・総会）	(5,500,000)	(746,385)	
	（教育）	(800,000)	(84,380)	
	（厚岸地区会）	(550,000)	(111,300)	
	（白糠地区会）	(180,000)	(79,880)	
	（摩周地区会）	(200,000)	(97,628)	
	根室会合費	710,000	151,085	
	（例会・総会）	(700,000)	(151,085)	
	（教育）	(10,000)	(0)	
	南しれとこ会合費	2,010,000	681,845	
	（例会・総会）	(1,200,000)	(466,770)	
	（教育）	(10,000)	(0)	
	（別海地区会）	(800,000)	(215,075)	
	三支部合同事業費	20,000	9,470	
	図書調査費	270,000	38,914	新聞、書籍
	共同求人費	10,000	0	
事業人件費	600,000	105,470	支部負担分	
小計 ④		14,380,000	2,684,591	
事務所費	家賃・共益費	1,800,000	281,400	家賃、駐車場
	水道・光熱費	370,000	71,823	水道、ガス、電気、灯油
	事務用品・雑費	900,000	175,964	事務用品、雑費、支払手数料
	慶弔費	140,000	37,000	香典、供花
	什器備品費	70,000	31,448	カメラストロボ
	コンピューター関係費	250,000	4,660	
	支部事務局人件費	15,000,000	2,228,265	本部負担
小計 ⑤		18,530,000	2,830,560	
その他費用	納税（自動車税）	74,000	74,000	車2台分
	記念事業引当金繰入	200,000	0	
	車輛購入引当金繰入	200,000	0	
	小計 ⑥	474,000	74,000	
a 当期支出合計（④+⑤+⑥）		33,384,000	5,589,151	
b 当期剰余金		0	293,189	
合計（a+b）		33,384,000	5,882,340	
c 前期繰越金		4,884,540	4,884,540	
次期繰越金（b+c）		4,884,540	5,177,729	

2009年度 北海道中小企業家同友会 釧根事務所 貸借対照表

(2009年5月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
[流動資産]		預り金	1,904,310
現金	202,889	(釧路 みけた会)	(562,419)
普通預金	5,426,281	(釧路 あゆみの会)	(175,155)
定期預金	0	(釧路 幹部大学同窓会)	(193,005)
引当金定期預金	2,031,095	(釧路 マルチメディア研究会)	(192,587)
切手・ハガキ類	26,425	(釧路 ノイズ倶楽部)	(62,620)
用紙他	18,000	(釧路 マウンテンクラブ)	(84,860)
未収入金	529,500	(釧路 土曜会)	(14,961)
前払家賃	140,700	(釧路 ゴルフ同好会)	(75,370)
立替金	175,350	(根室 山高会)	(318,674)
仮払金	86,200	(南しれとこ 猿の会)	(208,050)
小計①	8,636,440	(厚岸 歴史講座)	(16,609)
[固定資産]		(会費等)	(0)
敷金	390,000	未払金	125,306
電話加入権	212,000	仮受金	0
小計②	602,000	引当金	2,031,095
		(車両購入)	(1,487,553)
		(記念事業)	(66,543)
		(備品購入)	(381,410)
		(特別活動)	(95,589)
		小計③	4,060,711
		[自己資産]	
		前期繰越金	4,884,540
		当期剰余金	293,189
		小計④	5,177,729
合計 (①+②)	9,238,440	合計 (③+④)	9,238,440

普通預金内訳	5,426,281	引当金等内訳	2,031,095
(大地みらい信用金庫 新橋支店)	(1,704,230)	(大地みらい信用金庫 新橋支店) 特別活動	(95,589)
(大地みらい信用金庫 中標津支店)	(604,763)	(大地みらい信用金庫 新橋支店) 備品購入	(381,410)
(大地みらい信用金庫 根室本店)	(726,516)	(大地みらい信用金庫 新橋支店) 記念事業	(66,543)
(釧路信用金庫 愛国支店)	(1,104,413)	(大地みらい信用金庫 新橋支店) 車両購入	(1,487,553)
(北洋銀行 釧路中央支店)	(1,286,359)		

(注1) 前期繰越金に含まれていた釧根3支部の「支部活動強化預り金」の70万円を、本部会計との二重計上となる為、前期繰越金より差し引き、本部会計に計上した。

備品台帳

乗用車	2	デジタルカメラ	3	冷蔵庫	1	受付カウンター	1
(プリメーラ)		FAX兼用コピー機	1	事務机	5	事務用椅子	5
(フォレスター)		電話機	5	スチール書棚	13	会議用椅子	12
パソコン	7	携帯電話機	3	スチールロッカー	2	ホワイトボード	2
プリンター	3	テレビ	1	パンフレットスタンド	3	食器棚	1
プロジェクター	1	ビデオデッキ	1	長テーブル	5		
デジタルビデオ	1	ICレコーダー	3	来客テーブル	2		

【会計監査報告】

2009年度北海道中小企業家同友会釧根事務所 会計監査の結果、適正かつ正確に処理されていることを認めます。

2010年4月12日

会計監査  

会計監査  

2009年度 一般社団法人北海道中小企業家同友会 釧根事務所 収支報告書

(2009年6月1日～2010年3月31日)

(単位: 円)

収入の部			
勘定科目	予算(10ヶ月分)	実績(10ヶ月分)	備考
会費収入	入会金還元金	733,333	819,000 1社 16,000円
	(釧路)	(533,333)	(418,000)
	(根室)	(66,667)	(96,000)
	(南しれとこ)	(133,333)	(305,000)
	会費還元金	6,450,000	6,551,000 1社1ヶ月 1,000円
	(釧路)	(4,500,000)	(4,545,000)
	(根室)	(650,000)	(642,000)
	(南しれとこ)	(1,300,000)	(1,364,000)
	支部還元金(人件費)	12,500,000	13,239,427 本部負担分
小計 ①		19,683,333	20,609,427
事業収入	釧路会合収入	5,666,667	7,460,027
	(例会・総会)	(4,166,667)	(3,058,015)
	(教育)	(833,333)	(825,000)
	(部会)	(0)	(3,077,612)
	(厚岸地区会)	(416,667)	(192,700)
	(白糠地区会)	(125,000)	(83,900)
	(摩周地区会)	(125,000)	(222,800)
	根室会合収入	558,333	894,134
	(例会・総会)	(541,667)	(388,880)
	(教育)	(16,667)	(68,000)
	(部会)	(0)	(437,254)
	南しれとこ会合収入	1,600,000	2,177,981
	(例会・総会)	(916,667)	(534,500)
	(教育)	(16,667)	(0)
	(部会)	(0)	(267,246)
	(別海地区会)	(666,667)	(1,376,235)
	三支部合同事業収入	16,667	4,000
	共同求人収入	8,333	0
	雑収入	286,667	738,936 部会事務費・推進力研究事業他
小計 ②		8,136,667	11,275,078
その他収入	車輛受贈益	0	3
	本部基金繰戻	0	700,000 支部活動強化預り金
	地域経済推進力研究事業	0	5,003,464
小計 ③		0	5,703,467
当期収入合計(①+②+③)		27,820,000	37,587,972

（単位：円）

支出の部				
勘定科目		予算(10ヶ月分)	実績(10ヶ月分)	備考
事業費	印刷費	375,000	475,530	コピー機リース、封筒、名刺
	通信費	900,000	1,161,873	
	（郵送料）	(66,667)	(260,402)	郵便、宅急便
	（電話料）	(666,667)	(765,018)	電話、ﾌﾞﾛｯｸﾞ
	（FAX料）	(166,667)	(136,453)	FAX同報送信
	交通費	1,083,333	1,627,284	ｶﾞｿﾘﾝ、車検、保険、修理等
	出張宿泊費	583,333	769,327	
	釧路会合費	6,025,000	5,884,683	
	（例会・総会）	(4,583,333)	(2,853,723)	
	（教育）	(666,667)	(525,176)	
	（部会）	(0)	(1,893,980)	
	（厚岸地区会）	(458,333)	(215,900)	
	（白糠地区会）	(150,000)	(107,481)	
	（摩周地区会）	(166,667)	(288,423)	
	根室会合費	591,667	682,825	
	（例会・総会）	(583,333)	(481,955)	
	（教育）	(8,333)	(60,435)	
	（部会）	(0)	(140,435)	
	南しれとこ会合費	1,675,000	2,334,743	
	（例会・総会）	(1,000,000)	(597,328)	
	（教育）	(8,333)	(0)	
	（部会）	(0)	(149,262)	
	（別海地区会）	(666,667)	(1,588,153)	
	三支部合同事業費	16,667	30,870	
	図書調査費	225,000	322,917	新聞、書籍、公立大学学術研究費
	共同求人費	8,333	4,600	
	事業人件費	500,000	553,219	支部負担分
	小計 ④		11,983,333	13,847,871
事務所費	家賃・共益費	1,500,000	1,491,110	家賃、駐車場、火災保険
	水道・光熱費	308,333	342,600	
	事務用品・雑費	750,000	1,486,447	事務用品費・雑費・支払手数料・福利厚生費
	慶弔費	116,667	157,125	香典、供花
	什器備品費	58,333	175,350	長尺プリンター
	コンピューター関係費	208,333	409,906	PC2台、ソフト、システム管理料
	支部事務局人件費	12,500,000	13,239,427	本部負担
	小計 ⑤		15,441,667	17,301,965
その他費用	納税（自動車税）	0	0	
	記念事業引当金繰入	200,000	0	
	車輛購入引当金繰入	200,000	0	
	消費税引当金繰入	0	0	
	地域経済推進力研究事業	0	5,003,464	
	小計 ⑥		400,000	5,003,464
a 当期支出合計（④+⑤+⑥）		27,825,000	36,153,300	
b 当期剰余金		-5,000	1,434,672	
合計（a+b）		27,820,000	37,587,972	

2009年度 一般社団法人北海道中小企業家同友会 釧根事務所 貸借対照表

(2010年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
[流動資産]		[流動負債]	
現金	50,011	預り金	0
普通預金	5,626,168	未払金 (退会者会費負担分・推進力研究事業)	880,736
定期預金	2,032,933	仮受金	0
切手・ハガキ類	23,845	前受金 (2010年度部会会費)	42,000
用紙他	16,000	納税未払金	0
未収入金 (3月分会費還元金)	568,000	小計③	922,736
前払家賃 (4月分家賃)	140,700	[正味財産]	
立替金	0	一般正味財産	8,160,633
仮払金	0	(内 釧路 みけた会)	(433,527)
小計①	8,457,657	(内 釧路 あゆみの会)	(208,429)
[固定資産]		(内 釧路 幹部大学同窓会)	(176,500)
基本財産	0	(内 釧路 マルチメディア研究会)	(130,032)
特定資産	0	(内 釧路 ノイズ倶楽部)	(81,020)
その他固定資産	625,712	(内 釧路 マウンテンクラブ)	(63,460)
(敷金)	(390,000)	(内 釧路 土曜会)	(29,285)
(電話加入権)	(212,000)	(内 釧路 ゴルフ同好会)	(35,770)
(車輛)	(2)	(内 釧路 フィッシングクラブ)	(9,000)
(リサイクル預託金)	(23,710)	(内 根室 山高会)	(296,819)
		(内 南しれとこ 獺の会)	(117,984)
		(内 厚岸 歴史講座)	(16,609)
小計②	625,712	小計④	8,160,633
合計 (①+②)	9,083,369	合計 (③+④)	9,083,369

(注1) 法人会計に基づき、従来の引当金を資産の定期預金に移行した。

(注2) 法人会計に基づき、部会・同好会の預り金を一般正味財産にした。

(注3) 釧根3支部の「支部活動強化預り金(70万円)」を本部会計より3月に繰り戻した。

普通預金内訳	5,626,168	定期預金内訳	2,032,933
(大地みらい信用金庫 新橋支店)	(676,051)	(大地みらい信用金庫 新橋支店)	(787,553)
(大地みらい信用金庫 中標津支店)	(678,973)	(大地みらい信用金庫 新橋支店)	(95,589)
(大地みらい信用金庫 根室本店)	(896,698)	(大地みらい信用金庫 新橋支店)	(382,020)
(釧路信用金庫 愛国支店)	(999,703)	(大地みらい信用金庫 新橋支店)	(66,651)
(北洋銀行 釧路中央支店)	(2,374,743)	(大地みらい信用金庫 新橋支店)	(701,120)
(大地みらい信用金庫 決済用預金)	(0)		

備品台帳

乗用車	2	デジタルカメラ	3	冷蔵庫	1	受付カウンター	1
(プリメーラ)		FAX兼用コピー機	1	事務机	5	事務用椅子	5
(フォレスター)		電話機	5	スチール書棚	13	会議用椅子	12
パソコン	7	携帯電話機	3	スチールロッカー	2	ホワイトボード	2
プリンター	3	テレビ	1	パンフレットスタンド	3	食器棚	1
プロジェクター	1	ビデオデッキ	1	長テーブル	5		
デジタルビデオ	1	ICレコーダー	3	来客テーブル	2		

【会計監査報告】

2009年度(社)北海道中小企業家同友会釧根事務所 会計監査の結果、適正かつ正確に処理されていることを認めます。

2010年4月12日

会計監査 比 率 徳 

会計監査 中 井 厚 志 

2010年度 一般社団法人北海道中小企業家同友会 釧根事務所 予算案

(2010年4月1日～2011年3月31日)

(単位:円)

科目		2010年度予算	共益事業会計	受託事業会計	法人会計
一般正味財産増減の部	経常収益	(1) 受取還元入金金 (16000円×60社)	960,000		960,000
		(2) 受取還元会費 (12000円×670社)	8,040,000		8,040,000
		(3) 法人運営会費収入(支部総会・支部幹事会)	1,100,000		1,100,000
		(4) 事業収益 学び合い活動会費収入(部会収入含む)	7,000,000	7,000,000	
		社員教育負担金収入	1,100,000	1,100,000	
		受託事業	10,500,000	10,500,000	
		(5) 受取寄付金	20,000		20,000
		(6) 雑収益	2,900,000		2,900,000
	経常収益計		31,620,000	8,100,000	13,020,000
	経常増減	(1) 事業費			
		給与手当(支部負担分)	9,000,000	1,000,000	8,000,000
		会合費(部会会合費含む)	8,100,000	7,500,000	600,000
		研修会費	700,000	700,000	
		交通費	1,352,000	1,302,000	50,000
		出張宿泊費	911,000	651,000	260,000
		通信費	1,243,000	1,023,000	220,000
		減価償却費	0		
		消耗品費	510,000	465,000	45,000
		修繕費	27,900	27,900	
		印刷費	515,000	465,000	50,000
		水道光熱費	390,600	390,600	
		賃借料	2,790,000	2,790,000	
		消耗什器備品	697,500	697,500	
		リース料	110,000	110,000	
		諸謝金	660,000		660,000
		租税公課	500,000		500,000
		雑費	580,000	465,000	115,000
		(2) 管理費			
		会議費(支部総会・支部幹事会)	1,100,000		1,100,000
		交通費	98,000		98,000
		出張宿泊費	49,000		49,000
		通信費	77,000		77,000
		e.doyu使用料(別海地区会)	40,000		40,000
		コンピュータ関係費	250,000		250,000
		消耗品費	35,000		35,000
		修繕費	2,100		2,100
		印刷費	35,000		35,000
		調査研究費	160,000		160,000
		水道光熱費	29,400		29,400
		賃借料	210,000		210,000
		消耗什器備品	52,500		52,500
		保険料	250,000		250,000
		租税公課	0		0
		諸謝金	20,000		20,000
		慶弔費	200,000		200,000
		雑費	35,000		35,000
	経常費用計		30,730,000	17,587,000	2,643,000
	経常増減額		890,000	△ 9,487,000	10,377,000
経常外増減	経常外収益	(1) 固定資産受贈益	0		
		経常外収益計	0		0
	経常外費用	(1) 移転費用	670,000		670,000
		(2) 原状回復費	220,000		220,000
		経常外費用計	890,000		890,000
	経常外増減額		890,000		△ 890,000
当期一般正味財産増減額		0			
一般正味財産期首残高					
一般正味財産期末残高					

一般社団法人 北海道中小企業家同友会(釧根三支部) 資産負債関係 収支予算

自 2010年4月1日 至 2011年3月31日 (単位:円)

科目	予算
車輛購入支出	1,500,000